

創業100周年を控えた老舗和用紙卸売企業による次世代に向けた 事業構造転換プロジェクト 支援

(鳥取銀行)

1. 取組の概要

- ・ 創業100周年を控えた老舗和用紙・事務用品卸売企業による、次世代に向けた事業構造転換プロジェクト。
- ・ 伝統の知見を活かしつつ、経営基盤を盤石にする「守りのDX」と地域資源を活かして新たな収益柱を創出する「攻めの観光開発」を両立・並走させるハイブリッド経営を推進する。

2. 背景と課題

- ・ 経営層の疲弊：社長が配送や営業などの現場実務に拘束され、未来の戦略構築に注力できない。
- ・ 市場環境の変化：ペーパーレス化の波による既存卸売事業の収益悪化。
- ・ 組織の構造的課題：アナログで属人的なバックオフィス業務による低い生産性。
- ・ 地域の衰退：旧中心街における空き物件の増加と地域コミュニティの空洞化。

3. 具体的な取組

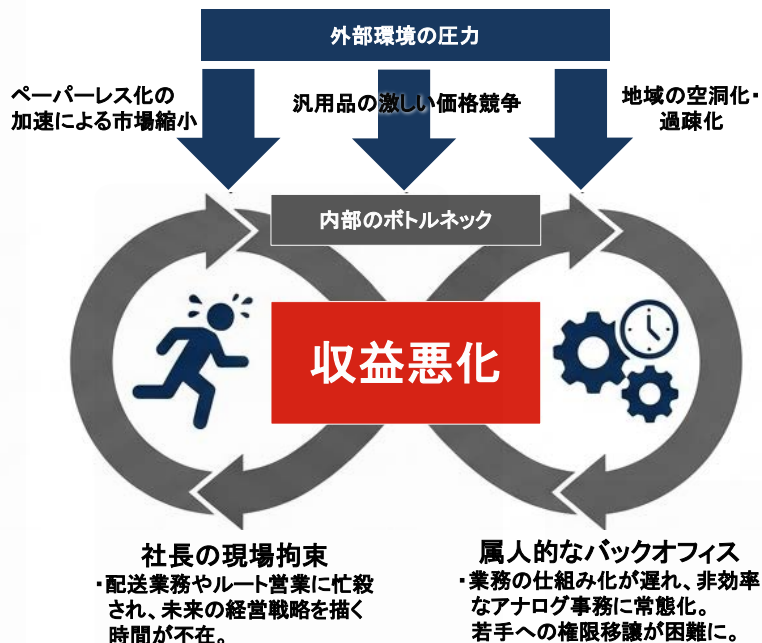
- ・ 守り（DX・生産性向上）：配送・バックオフィス業務の仕組み化・ペーパーレス化を推進。生産性を飛躍させ、若手社員への大胆な権限移譲を実現する。
- ・ 攻め（新規事業・空間再生）：空き倉庫をリノベーションし、「紙のブティックホテル・ラボ・カフェ」へと再生。特殊紙の魅力を発信するBtoBショールーム機能も兼備。
- ・ 人材育成（「紙展」）：100周年を見据え、若手主導のプロジェクト「紙展」を毎年開催。予算管理から外部折衝までを任せ、次世代リーダーを育成。

4. 専門人材の活用

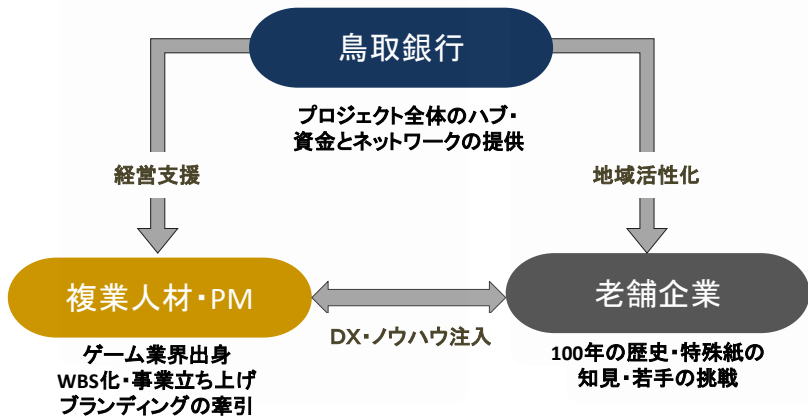
- ・ ゲーム業界出身で複数の地方企業経験を持つ「複業人材」をプロジェクトマネージャー（PM）として招聘。
- ・ ゲーム開発手法（WBS等）を応用し、属人的な工程管理を可視化。
- ・ ゼロからの事業立ち上げ知見とブランディングのノウハウを注入し、DXと新事業（観光開発）の両輪をハンズオンで強力にリードする。

5. スキーム

【直面する課題の構造】



【枠組みのデザイン】



【保有するコア資産】



企業概要
・創業100周年の和洋紙・事務用品卸売企業



100年の信頼
・地域に根差した顧客基盤と取引ネットワーク



特殊紙の専門性
・多種多様な和用紙に対する知見と提案力



不動産資産
・旧中心地に位置する歴史ある空き倉庫
(※地域の空洞化によりポテンシャルが未発揮)

【紙展への取り組み】

- ・若手主導のプロジェクト「紙展」を毎年開催。
- ・予算管理から外部折衝までを任せ、次世代リーダーを育成。
- ・特殊紙の魅力を発信するBtoBショールーム機能も兼備。



【倉庫再生ビフォーアフター】

【BEFORE: 現状】



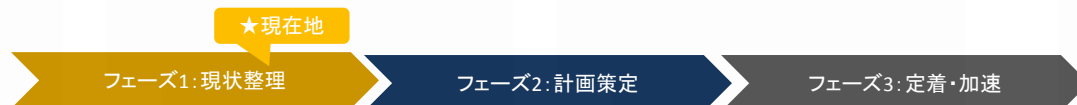
老朽化した旧市街の紙倉庫
活用されていない不動産

【AFTER: 未来図】



紙のブティックホテル&ラボ・カフェ
特殊紙の魅力を体感できる洗練された
モダン空間・BtoBショールーム

【変革ロードマップ】



事業目標の言語化、課題の構造的整理。未来からの逆算(バックキャスト)による事業計画策定。「捨てることリスト」の作成

WBS(作業分解構成図)でのタスク管理。週次PDCA。勝ちパターンの言語化と組織全体への定着。